CD-R/RW ドライブ

取扱説明書

C77239000

ご注意

（１）本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
（２）本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
（３）本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
（４）本製品を運用した結果の影響については、（３）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Photo-CDは米国イーストマン・コダック社の登録商標です。
その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびはCD-R/RWドライブをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本書では、CD-R/RWドライブの使い方について説明しています。ご使用の前に本書を必ずお読みください。なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

また、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』ー「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」もあわせてお読みください。

表記について

本書の中で使用している記号の意味は次のとおりです。

安全に関する記号

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号

制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載してあります。

参考事項です。
覚えておくと便利なことを記載してあります。

説明文が次ページに続くことを示します。

参照ページを示します。

1 2

操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

目次

1　添付品の確認

CD-R/RWドライブ(以下、本機)の添付品は次のとおりです。添付品がすべて揃っていることを確認してください。万一、不足や不良がありましたら、修理センターまでご連絡ください。

- □ **CD-R/RWドライブ本体**
- □ **CD-R/RWドライブ取扱説明書(本書)**
- □ **B's Recorder GOLD/B's CLiPパッケージ**
  CD-ROMや登録カードなどが入っています。

- **コンピュータと本機を同時購入された場合、本機はあらかじめコンピュータに装着されています。**
- **コンピュータと本機を同時購入された場合、「B's Recorder GOLD」は、あらかじめインストールされています。「B's CLiP」はインストールされていません。必要に応じて、「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」に登録されているクイックガイド(PDFファイル)をご覧になり、インストールを行ってください。**
  p.16「ソフトウェアのインストールについて」

2 CD-R/RWドライブの特長

本機は、CD-ROMドライブ機能のほかに、データ、音楽、画像などをメディアに書き込むことができるCD-RドライブとCD-RWドライブの機能を備えています。

また、バッファアンダーランエラー*の発生を自動的に防止する機能が搭載されています。そのため、書き込みエラーを未然に防ぐことができ、メディアを無駄にすることなく、安心して書き込みが行えます。

* 遅延なくメディアへ書き込まないと、発生するエラーのこと。
メディアへの書き込みは、CD-R/RWドライブ側のバッファメモリに一時的に書き込むデータを蓄えながら、メディアに書き込んでいるが、書き込み中にコンピュータで他の作業をするなど、バッファメモリのデータを使い切ってしまうと発生する。

使用可能なドライブ機能

CD-ROMドライブ機能

- 最大48倍速でデータの読み出しが可能です。
- 各種フォーマットのCD-ROMメディアが再生可能です。

CD-Rドライブ機能

- データの書き込みが可能です。書き込みの速度は48倍速、40倍速、32倍速、24倍速、16倍速、12倍速、8倍速、4倍速から選択できます。

※ 各メディアへの書き込みは、対応メディアをご使用ください。

CD-RWドライブ機能

- データの書き換えが可能です。書き込みの速度は、24倍速、16倍速、12倍速、10倍速、8倍速、4倍速から選択できます。

※ 各メディアへの書き込みは、対応メディアをご使用ください。

利用可能なメディア

CD-ROMメディア

データ、音楽、画像などが登録されている読み込み専用メディアです。CD-ROMメディアに書き込みをすることはできません。

CD-Rメディア

データ、音楽、画像などを一度だけ書き込むことができます。書き込まれたデータなどを消去したり、移動したりすることはできません。ただし、マルチセッションという方法により、CD-Rメディアに空き容量があれば、繰り返し追記することができます。

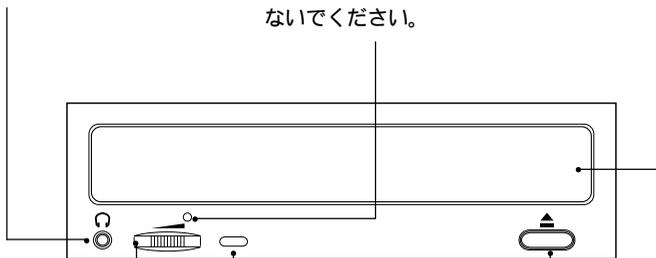
CD-RWメディア

書き込んだデータ、音楽、画像などをフォーマットし、繰り返し書き込みが行えます。

CD-Rメディア、CD-RWメディアには書き込みの対応速度によって異なる種類があります。書き込みを行う場合は、書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

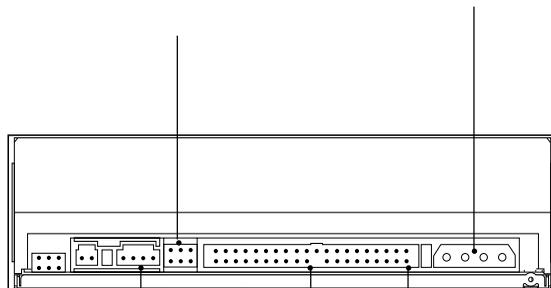
3 各部の名称と働き

前面パネル

各部の名称と働きは、次のとおりです。お使いのコンピュータの機種により、形状が多少異なる場合がありますが、名称と働きは同じです。

ランプ表示

アクセスランプの表示と動作状態の関係は、次のとおりです。

アクセスランプ表示	動作状態
緑(点滅)	メディアへのアクセス中、メディアの再生中
赤(点灯)	メディアへの書き込み中

背面パネル

4 取り扱い上の注意

本機をお使いになる前に、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』－「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」を必ずお読みください。その際、本章とあわせてお読みになり、正しく取り扱ってください。

●ディスクトレイに手を入れ、挟まれないように注意してください。けがの原因になります。

●ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。本機の内部で飛び散って、けがの原因になります。

使用時の取り扱い

- ディスクトレイを開いたまま放置しないでください。故障の原因になります。
- 開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。
- 開いているディスクトレイに無理な力をかけないでください。
- メディアの挿入や取り出しのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。
- 本機は、お使いになるコンピュータの温湿度条件下で使用してください。詳しくは、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』－「機能仕様一覧」をお読みください。
- 磁石など磁気を持つものを近づけないでください。磁気の影響で、動作が不安定になる場合があります。
- 結露した状態で使用しないでください。寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）し、誤動作や故障の原因になります。メディアを取り出して約1時間ほど放置した後に、使用してください。
- 揮発性の殺虫剤などをかけないでください。ケースの変形や塗装がはげる原因になります。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。

メディアの取り扱い

- 直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。結露が生じる場合があります。
- 上に物を載せないでください。
- 汚したり、落としたりして傷を付けないでください。
- クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。
- ボールペンなどの先の硬いもので文字を書いたり、シールや紙を貼らないでください。
- アクセスランプ点灯・点滅中は、メディアを取り出したり、コンピュータの電源スイッチを押したり、リセットしないでください。
- 使用後は、コンピュータにセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。
- ゴミやホコリの多いところでは、使用や保管しないでください。
- 信号面(文字などが印刷されていない面)に触れないでください。
- レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。
- メディアは、レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

5 CD-R/RWドライブの装着

本機をコンピュータに装着する方法について説明します。コンピュータと本機を同時に購入された場合は、本機はあらかじめコンピュータに装着されています。本章は、本機をあとから装着する場合や、取り外したあとに再度装着する場合などに参照してください。お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』ー「システムの拡張」もあわせてご覧ください。

ジャンパスイッチの設定

本機は、コンピュータに標準で装備されているIDEインタフェースに接続します。IDE機器（IDE HDD、IDE CD-ROMドライブやATAPI MOなど）を複数使用する場合は、すべてのIDE機器にマスタやスレイブ、ケーブルセレクトと呼ばれる優先順位の設定をする必要があります。

『ユーザーズマニュアル』ー「IDE装置の設定」

優先順位の設定は、本機背面のジャンパスイッチで行います。あらかじめお使いのコンピュータに接続されているすべてのIDE機器の数と種類を確認してください。ジャンパスイッチの設定方法は、次のとおりです。

1 **本機を含め、接続されているすべてのIDE機器に対して、優先順位を決定します。**

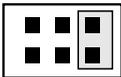
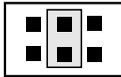
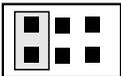
『ユーザーズマニュアル』ー「IDE装置の設定」

5.25型ドライブを2台接続する場合は、2台ともセカンダリコネクタに接続します。その場合、セカンダリコネクタの優先順位を次のように設定してください。

マスタ	スレイブ
CD-ROMドライブ	CD-R/RWドライブ
DVD-ROMドライブ	CD-R/RWドライブ

2

手順1で決定した本機の優先順位を、ジャンパスイッチで設定します。
本機のマスタ、スレイブ、ケーブルセレクトのジャンパスイッチの位置は、次のとおりです。

p.7「背面パネル」

ドライブ設定	ジャンパスイッチの位置
マスタ	
スレイブ	
ケーブルセレクト	

装着の手順

コンピュータの電源ケーブルを電源コンセントに接続した状態で、本機を装着しないでください。感電や火傷の危険があります。

■ドライブベイへの装着

本機は、コンピュータの5.25型ドライブベイに装着します。装着する際は、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』－「システムの拡張」をご覧ください。

■各ケーブルの接続

コンピュータに装着したあとは、各ケーブルを接続します。各コネクタの位置は、p.7「背面パネル」をご覧ください。コネクタにはそれぞれ誤挿入防止のための切り欠きがあります。切り欠きとケーブルの突起を合わせて接続してください。お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』ー「ドライブ(IDE)装置の接続例」も参照してください。

1 **本機背面のIDEインタフェースコネクタに、IDEインタフェースケーブルを接続します。**

2 **スピーカから音を出力するために、CDオーディオケーブルを接続します。**

- **サウンドボードをお使いの場合**

  本機のCDオーディオコネクタとサウンドボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに、接続します。

- **メインボード上にあるサウンド機能をお使いの場合**

  本機のCDオーディオコネクタとメインボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに、接続します。
  メインボード上にサウンド機能が搭載されていないモデルもあります。

3 **電源コネクタに、コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルを接続します。**

6 CD-R/RWドライブの使い方

使用する際は、次の注意事項を守り、正しくお使いください。

ヘッドフォンやスピーカを使用する場合は、ボリューム調節ダイヤルを最小に調節してから接続してください。ボリューム調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。

メディアのセットと取り出し

メディアのセット方法と取り出し方法については、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』－「CD-ROMドライブを使う」をご覧ください。ドライブの形状は異なりますが、基本的な操作方法は同じです。その際には、「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」と読み替えてお使いください。

- **コンピュータによっては本機を縦置きで使用できますが、縦置き時に8cmメディアを使用することはできません。**
- **楕円などの通常と異なる形状のメディアは、縦横どちらの置き方でも使用することはできません。**
- **B's CLiPでフォーマットされたメディアは、イジェクトボタンを押しても取り出すことができません。メディアの取り出し方法については、「B's CLiP」のオンラインマニュアルをご覧ください。**

  ［スタート］－「（すべての）プログラム」－「B.H.A」－「B's CLiP」

メディアへの書き込み

メディアへ書き込みをする場合は、ライティングソフトウェアが必要です。本機には、ライティングソフトウェアとして「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」が添付されています。購入時には、「B's Recorder GOLD」のみインストールされています。「B's CLiP」は必要に応じてインストールしてください。

p.16「ソフトウェアのインストールについて」

「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」の詳しい使用方法については、それぞれのオンラインマニュアルをご覧ください。オンラインマニュアルは、次の場所から見ることができます。B 's CLiPのオンラインマニュアルを見るためには、B 's CLiPのインストールが必要です。

- **[スタート] ー「(すべての) プログラム」ー「B.H.A」ー「B's Recorder GOLD5」**
- **[スタート] ー「(すべての) プログラム」ー「B.H.A」ー「B's CLiP」**

【B's CLiP使用時の確認事項】

● 書き込みがうまくできないときは(Windows XPのみ)

[スタート]ー「マイコンピュータ」ーCD-ROMアイコンを右クリックー「プロパティ」ー「書き込み」タブー「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックを外してみてください。

● メディアの取り出し

「B's CLiP」でフォーマットしたCD-RメディアやCD-RWメディアは、イジェクトボタンを押しても取り出すことができません。メディアの取り出し方法については、「B's CLiP」のオンラインマニュアルをご覧ください。

メディアへの書き込み時の注意

「B's Recorder GOLD」、「B's CLiP」を使用して、メディアへの書き込みを行っているときに、Windowsが省電力(パワーマネージメント)モードに切り替わると、CD-RメディアやCD-RWメディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に、省電力機能を無効にしてください。

『ユーザーズマニュアル』ー「省電力機能」

省電力機能を無効にする方法は次のとおりです。

1 **[スタート]−「設定」−「コントロールパネル」をクリックします。**

Windows XPの場合は、[スタート]−「コントロールパネル」をクリックします。

2 **「電源オプション(電源の管理)」アイコンをダブルクリックします。**

Windows XPの場合は、「パフォーマンスとメンテナンス」−「電源オプション」をクリックします。

3 **「モニタの電源を切る」など、すべての項目の時間設定を「なし」に設定します。**

4 **[適用]をクリックし、[OK]をクリックします。これで、省電力モードが無効になります。**

適応フォーマット

本機が適応しているフォーマットは、次のとおりです。ただし、適応しているフォーマットでも、ライティングソフト側で適応していないフォーマットは使用できません。『B's Recorder GOLDユーザーズマニュアル』をご覧になり、適応フォーマットをご確認ください。

フォーマット	書き込み(Write)	読み取り(Read)
CD-DA	○	○
CD-G	×	×
CD-TEXT	○	○
CD-ROM(Mode1)*	○	○
CD-ROM XA(Mode2 Form1・Form2)*	○	○
Mixed Mode CD-ROM (CD-ROM+CD-DA)	○	○
Photo-CD*	○	○
Video-CD	○	○
CD-I	×	×
CD-EXTRA	○	○

*マルチセッション機能を含む
マルチセッション機能とはCD-Rメディアに書き込みを行ったあと、空き容量があれば99回まで追記できる機能のこと。

7　ソフトウェアのインストールについて

本章では、本機に添付されているソフトウェアのインストールについて説明しています。

● **B's Recorder GOLD**

本機をコンピュータと同時に購入された場合は、あらかじめインストールされています。本機をあとから装着した場合やWindowsを再インストールした場合は、「B's Recorder GOLD」のインストールが必要です。
インストールする際は、「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」に登録されているクイックガイド（PDFファイル）をご覧ください。
クイックガイド（PDFファイル）を開く手順は次のとおりです。

「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」を本機にセット－「マイコンピュータ（Windows XPは、［スタート］－「マイコンピュータ」）**」－CD-ROMアイコンを右クリック－「開く」－「BsGOLD5」－「DOC」－quick（ファイル名）**

● **B's CLiP**

コンピュータ購入時にインストールされていません。必要に応じて、「B 's CLiP」のインストールを行ってください。
インストールする際は、「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」に登録されているクイックガイド（PDFファイル）をご覧ください。
クイックガイド（PDFファイル）を開く手順は次のとおりです。

「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」を本機にセット－「マイコンピュータ（Windows XPは、［スタート］－「マイコンピュータ」）**」－CD-ROMアイコンを右クリック－「開く」－「BsCLiP」－「DOC」－Quick（ファイル名）**

PDFファイルを見たり、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader 」が必要です。「Adobe Acrobat Reader 」は、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされています。

8 困ったときに

本機の調子がおかしいと感じたときは、下記の項目を確認してみてください。また、添付ソフトウェアのマニュアルも参照してください。確認後も状況が変わらない場合は、お買い求めいただきました販売店。サービスセンターまたはテクニカルセンターまでご連絡ください。

現象　**コンピュータが起動しなくなった。本機にアクセスするとコンピュータが停止（ハングアップ）する。**

確認と対処

● コンピュータの使用環境について、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』－「安全にお使いいただくために」、「製品保護上の注意」および本書「取り扱い上の注意」の項目を確認してください。

現象　**セットしたメディアにアクセスできない。**

確認と対処

● メディアを挿入した直後、アクセスランプ点灯中はデータの読み込み準備のため、アクセスできません。この場合は、アクセスランプの消灯を待って、もう一度アクセスしてみてください。

● メディアの表面に傷などがないか確認してください。

● コンピュータに添付されていたメディア（「リカバリCD」など）にアクセスできるか確認してください。問題がない場合は、アクセスできないメディアに問題がある可能性があります。

● メディアが正しくセットされているか確認してください。

● メディアのフォーマット形式が、本機に対応していない可能性があります。フォーマット形式を確認してください。

p.15「適応フォーマット」

『B's Recorder GOLDユーザーズマニュアル』

● 本機との相性により、書き込み済みのCD-RメディアまたはCD-RWメディアを読み込めない場合があります。

現象　**セットしたメディアのデータを読み込めない。**

確認と対処

● メディアには、CD-ROM、音楽CD、ビデオCD、フォトCDなどがあります。コンピュータの記録メディアとしてそのまま利用可能なのはCD-ROMメディアだけです。そのほかのメディアにアクセスするためには専用のソフトウェアが必要になります。Windowsには音楽CDなどを再生するソフトウェアとして「Windows Media Player」が標準で添付されています。

現象　**メディアをセットすると画面が開いてしまう。**

確認と対処

● セットしたメディアに自動再生機能がある場合は、自動的に画面が開きます。メディアに登録されている内容を見たい場合は、[キャンセル]または☒をクリックして、画面を閉じてから、「マイコンピュータ」のCD-ROMドライブを右クリックして、「開く」を選択します(Windows XPは[スタート]－「マイコンピュータ」)。

現象　**音楽CDの音が聞こえない。**

確認と対処

● ボリュームの調節が適切か確認してください。
『ユーザーズマニュアル』－「サウンド機能を使う」

● アンプまたはアンプ内蔵スピーカのスイッチが入っているか確認してください。

● Windows XPをお使いの場合、本機のヘッドフォンジャックにヘッドフォンを接続しても、音声を出力することができません。

現象　**メディアへの書き込みができない。**

確認と対処

● メディアへの書き込みをする場合には、専用のライティングソフトウェアが必要です。本機には、ライティングソフトウェアとして「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」が添付されています。
コンピュータ購入時には、「B's Recorder GOLD」のみインストールされています。「B's CLiP」は、必要に応じてインストールしてください。
p.16「ソフトウェアのインストールについて」

- Windows XPで「B's CLiP」をご使用の場合、[スタート]－「マイコンピュータ」－CD-ROMアイコンを右クリック－「プロパティ」－「書き込み」タブ－「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックを外してみてください。
- メディアが正しくセットされているかどうか確認してください。
- メディアの表面に汚れや傷などがないか確認してください。
- メディアの残容量があるか確認してください。
- ヘッドレンズなどが汚れていないか確認してください。汚れが原因で、書き込みができない場合があります。
- 本機との相性により、セットしたCD-RメディアまたはCD-RWメディアに書き込めない場合があります。

現象　**書き込み中に書き込みエラーが発生する。**

確認と対処

- Windows が省電力モードに切り替わると、CD-R メディアまたはCD-RW メディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に省電力機能を無効にしてください。
  p.14「メディアへの書き込み時の注意」
- 本機の対応速度にあわせたメディアを使用しているかどうか確認してください。
  p.4「使用可能なドライブ機能」
- メディアの残量があるか確認してください。
- ヘッドレンズの汚れによって書き込みができない場合があります。
- 本機との相性によって、セットしたCD-R メディアまたはCD-RW メディアに書き込めない場合があります。

現象　**ディスクトレイが開かない。**

確認と対処

- コンピュータの電源が入っているか確認してください。
- B's CLiPでフォーマットされたメディアは、イジェクトボタンを押しても取り出すことができません。メディアの取り出し方法については、「B's CLiP」のオンラインマニュアルをご覧ください。
  [スタート]－「(すべての)プログラム」－「B.H.A」－「B's CLiP」
- 上記の作業を行っても取り出すことができない場合は、ディスクトレイを強制的に開くことができます。詳しくは、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』－「CD-ROMドライブを使う」－「強制的なCD-ROMの取り出し」をご覧ください。その際には、「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」と読み替えてください。

現象　**ディスクトレイが閉まらない。**

確認と対処

- メディアが正しくセットされているかどうか確認してください。